



さぽせん あいかわ

第3号

平成20年9月15日

編集・発行 あいかわ町民活動サポートセンター
運営委員会

住所 愛川町角田251番地1
電話 046-205-1323

あいかわ町民活動サポートセンター

<http://town.aikawa.kanagawa.jp/saposen/index.htm>

～ あいかわ町民活動応援事業公開審査会を取材しました ～

ワクワク感で、ゲットです

去る6月28日(土)にあいかわ町民活動応援事業の公開審査会がありました。公益性・実現性・創造性・継続性、さらに費用の妥当性の5つの指標で問われる審査でしたが、下記の3事業がみごとハードルを越えました。プレゼンテーションを見ているとつい体験したくなる事業。どうやらワクワク感がポイントだったようです。以下、そのプロフィールを紹介します。(より詳しくは“サポセン”にお問い合わせください)

あいかわ町民活動応援事業とは、町民皆さんが自主的・自立的に行う、公共の利益に寄与する活動の活性化を図り、協働によるまちづくりを進めるため、皆さんが企画・立案し、実施する事業に対して、町が資金的なバックアップを行う制度です。

サークル愛川自然観察会

事業名：野外観察会

補助金額：20,000円

事業内容：町内全域の地形・地質・化石・鳥・魚・昆虫などの観察を通して郷土の自然について学ぶとともに、自然の成り立ちや動植物の息づかいを肌で感じ、自然が持つ美しさや不思議さを多くの町民に実感してもらうため野外観察会を実施する。



六倉あるこーかい

事業名：愛川東六倉ウォーキングロード周辺里山づくり

補助金額：300,000円

事業内容：昨年、町民アイデアまちづくり事業でウォーキングロードを整備したが、周辺の山林は手入れがされていないため、ウォーキングロード周辺の樹木の名称標記や巣箱の取り付けなど自然観察ができる里山づくりを行う。

半原まつり研究会

事業名：太鼓・チンドン屋指導

補助金額：154,000円

事業内容：半原地区の子ども達を対象としていた清流太鼓の指導を町内全域に拡大し、また、昭和30年代頃に半原で行われていたチンドン屋を復活させることで地域の活性化・豊かな人づくりに寄与し、引き続き、伝統文化の伝承に努める。



サポートセンターの1年半をふり返って

活動団体の連携が未来を拓く

あいかわ町民活動サポートセンターは、昨年3月役場庁舎分館に開所して以来1年半を経過し、登録団体も77団体を数えるに至りました。この間をふり返り気づいたことをご報告します。

1. 活動団体間の連携効果の素晴らしさ

サポートセンター開所後、まず気付いたことは、活動団体間の連携効果の素晴らしさでした。最も顕著な例は、昨年10月14日(日)に「愛川国際交流クラブ」が「県立愛川ふれあいの村」と共催で実施した「国際交流フェスティバル」です。このイベントは、県立愛川ふれあいの村との協働に止まらず、サポートセンター登録団体、スポーツクラブ、趣味のサークルなどの多くの団体の協力があり盛大に開催されました。このように幅広い団体の連携ができるようになったことは特筆すべきことであります。

この発見から、イベントではできるだけほかの団体と連携し、自分の団体内で充足できない部分また、不得手な部分はよその団体に補ってもらうよう勧めています。

2. 町外から来て活動する団体との連携の勧め

登録団体の中には、町外に拠点をもちながら活動の場を愛川町にも求めて登録している団体が7つもあります。愛川町のよい自然環境を利用しながら地域にも貢献しようとする団体です。

町外で経験を積んでいる団体は、愛川町に新しい価値観と積極的な活動手法をもたらし、町内団体の活性化に大いに貢献するものと期待します。

今後町外団体との連携が幅広く進めば、地域資源が上手に利用できるものと考えます。



3. 公民館と連携したパネル展示による団体活動の発表

6・7月、サポートセンターに加え、2つの公民館(半原・中津)の協力を得てパネル展示による団体の活動発表を行いました。近くの公民館で団体情報が得られる便利さを狙ったものです。

4. イベントの集客は口コミが一番

登録団体の活動を広く知っていただくため活動発表会をこれまで計4回開催しました。これらイベントで最も苦勞するのが集客です。これまで町が主催する行事の日に合わせて実施しましたが、室内でじっくり話を聞く発表会は多くの聴衆を集めることができませんでした。

しかし第4回目の発表会は聴衆の増加にやや成功しました。これはスタッフ・運営委員、日頃協力いただいている方々の口コミの成果でした。

サポートセンターは、団体の皆さんの活動がしやすいよう、また個人が団体の情報に接して参加しやすいよう努めています。団体・個人ともご要望は遠慮なくスタッフにご相談ください。お待ちしております。

運営委員長 諏訪部 勲

6月1日(日)さぼせん登録団体活動発表会を 開催しました



「六倉あるこーかい」と「大正スポーツクラブ」の2団体に日頃の活動を発表していただきました。地域に密着した活動の報告がありました。これからも引き続き頑張ってください。またサポートセンター内において、「国際交流クラブ」「あしぼ」、「日本の竹ファンクラブ」「サークル愛川自然観察会」のパネル展示による活動紹介も行いました。

募集してます・参加お待ちしております

「ぷりこクラブ」

「ぷりこ」は、神奈川県子育て協会に加入し、講師や保健師さんによる勉強会や会員同士での料理教室などのレクレーションを行いながら、『子育てを楽しく1人で頑張らないで』をモットーに「ぷりこクラブ」をスタートさせました。一緒に子育てを楽しみませんか。

詳しくお知りになりたい方、入会申込みされたい方は、下記までご連絡ください。

(年会費あり)

電話・FAX 武藤 046-281-0764
市川 046-286-5457

「NPO法人 愛・ふるさと」

「NPO法人愛・ふるさと」では賛助会員を募集しております。また、活動に参加して下さる方も募集しております。

主な活動は次のとおりです。(1ヶ月1~2日程度)

1. カワラノギク(国の絶滅危惧種)の再生及び保護
2. ギフチョウ(国の絶滅危惧種)の飼育及び保護
3. オオムラサキ(国蝶)の飼育及び保護
4. 源氏ボタル・平家ボタルの保護
5. 無農薬野菜の栽培

問合せ先: 担当 浜 (090-1601-1356)

「あいかわ自然ネットワーク」

「あいかわ自然ネットワーク」では、会員&ボランティアを募集しています。

主な活動は次のとおりです。

1. 里地里山の暮らし: 昭和の記録
聞き取り記録: 自然(川など)・暮らし・仕事・子どもの遊びなど
2. 農のめぐみを引き継ぐために
里地里山の動物観察・調査、農のめぐみを味わう(野草・山菜等)他

問合せ先: 大木 (042-766-3350)

「愛川ティーボール愛好会」

「愛川ティーボール愛好会」では、ボランティア会員を募集しています。

活動内容等

1. 練習の指導及び補助、車椅子利用メンバーの送迎
2. 活動 毎月1回
3. 年会費 1,200円

問合せ先: 足立原 夕美子 (046-285-0233)

シリーズ さぼせん 利用団体探訪

協育と共育の実践

中津第二小学校区協育委員会

横顔

設立:平成9年10月

中津第二小学校の学区(地域・家庭・学校)は子どもの教育の場であり、地域の大人は皆、子どもの教師、学区が一体となって協力して子どもに関わっています。主な活動として子ども遊び塾があります。土曜日の午前中、学校の校庭や教室で地域の先生が多くの講座を担当して下さり、子どもと共に大人も成長していています。

連絡先 中津第二小学校 学区協育委員会事務局 上田教頭 285-2960

代表の声 いままでにも多くの地域の方のご協力を頂きましたが、今後も引き続きよろしく願いします。

探訪感想 地域の人達が先生となって子どもにかかわっていくことで、自然と地域コミュニティが育っていると思います。素晴らしい活動をいつまでも続けていってください。



1.2. 参歩 バリアをチェック

バリアフリー・まち点検実行委員会

横顔

設立:平成14年6月

愛川高校へ車いすで自力通学したいと希望した町内の男子中学生の気持ちを汲んで、通学路のバリア点検を行いました。この活動を継続するため、町民アイデアまちづくり事業に応募し、多くの人に車いすに試乗してもらい、ハード面のバリア改善だけでなく、心のバリアフリーが大切なことも伝えてきました。

また、中・高生と学校内のバリア点検を実施したり、小学校の総合学習で福祉を選択した児童と車いすで点検をし、車いすで生活する人の気持ちを理解してもらおう活動を実施しています。

連絡先 代表 山田郷子 090-6155-7733

代表の声 点検のたびに新しいことに気づき、多くの人と住みやすい町にしたいという気持ちが共有できて感謝しています。ようやく6年目に入りました。今後も多くの人に参加していただき、点検を続けていきたいと思います。

探訪感想 多くの人たちの参加で点検を行い問題点を共有する活動には、まことに感心いたしました。点検で改善の成果を期待します。



編集後記

あいかわ町民活動サポートセンター開設から1年半経過しました。その間に本広報誌も3号を発行するはこびとなりました。発行にあたり、関係各皆様方のご協力、まことにありがとうございました。掲載内容につきましてもご要望があれば、どしどしと意見等をお寄せ下さい。これからは、この“さぼせん あいかわ”が町民皆様方とサポートセンターの橋渡しを行い、町のボランティア活動が活性化し、皆様の活躍する場となれば幸いです。ぜひともサポートセンターを活用していただき、愛川町の公益活動を発展させたいものです。(Y)